

平成28年度第2回新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会 議事録概要

- 1 日 時 平成28年10月6日(木) 13:30～14:40
- 2 場 所 新居浜市保健センター 3階 中会議室
- 3 出席者 武方 誠二委員、中山 恵二委員、井石 安比古委員、鈴木 誠祐委員、
秦 哲久委員、加藤 すみれ委員、井田 仁美委員、大野 和久委員、
藤田 秀喜委員、岡部 嘉幸委員、木戸貴美佳委員、
(欠席者): 村上 美代子委員、宮本 良仁委員、亀井 利行委員
その他: 総務警防課 伊藤副課長、西条保健所企画課 野村係長
事務局: 保健センター 宮崎主幹、堀副所長、岩崎係長
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議内容

(事務局)

ただ今から、平成28年度第2回新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会を開会いたします。

本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。欠席の連絡ですが、村上委員さん、亀井委員さんから連絡を受けております。

この会は、新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づき、傍聴席を設けておりますが、本日の傍聴者はいらっしゃいません。

それでは、新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会設置要綱第6条に基づきまして、これからの議事進行は、武方会長にお願いします。

(議題1 概要)

それでは、本日の議題は大きく2題ですが、議題1の救急医療講演会について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

前回の検討委員会において、ご協議いただきました内容と重複する点もありますが、まとめて説明させていただきます。

会場、日時につきましては、1月28日(土曜日)新居浜市医師会館3階 大会議室をお借りして、13時30分から、救急医療適正受診啓発DVDを視聴した後、1時間程度、新居浜市医師会 中山会長にご講演いただくことになっています。

昨年、鈴木誠祐先生にご講演いただきましたときと同様、せっかくの機会ですので、より多くの方にご来場いただけるよう、イスのみを設置した会場を設営し、定員は150人としました。

資料は1-1、1ページをごらんください。講演会当日の、会場の配置図です。

また駐車場につきましても、保健センター駐車場や、となりの公園を解放するほか、医師会駐車場、ウイメンズプラザ第3駐車場をお借りして対応いたします。

次に、資料1-2、3ページ救急医療講演会 タイムスケジュールをごらんください。

開演にあたりまして、武方会長から開会のご挨拶を事務局としては予定しており、そのあと、DVDの視聴、中山会長にご講演いただき、閉会のご挨拶までお願いしたいと考えております。中山会長のご講演の後、アンケートにご回答いただき、回収ボックスへ入れていただく予定です。アンケート

内容につきましては、資料1-3、4ページ 事務局でアンケート（案）を作成しましたので、内容等について、このあと、委員の皆様でご協議をお願いしたいと思います。

次に、広報・周知についてです。12月号市政だよりへ掲載するほか、チラシ配布を予定しています。資料2、5ページから10ページまでのチラシ（案）をごらんください。表の面は、すべて同じ内容で、カラー刷りにする予定です。裏の面については、赤と黒の2色刷りの、事務局で3パターンを作成しています。しかし、仮に表面の演題『救急医療啓発 講演会』としていますが、何かもっとよい演題ですとか、裏面のパターン1のスローガンか、パターン2の医療体制図か、あるいは講演のお知らせのみの、裏面なしのパターン3のいずれかで決定したいと事務局としては考えておりますが、皆様方でご協議いただき、いろいろなご意見を出していただき、今日この会の中でチラシの構成について決定し、会終了後、すぐにチラシの作成にとりかかりたいと考えています。

保健センターにおいて、11月下旬以降になるかと思いますが、実施する事業の機会を通じ、広く一般の方に対し、このチラシを使ったお知らせを事務局としては予定しています。資料は3-1、11ページ周知・案内スケジュールとチラシ配布数（案）をごらんください。各関係機関へのチラシの配布、ポスター掲示を依頼し、周知・動員に努めてまいります。

また、委員の皆様方におかれましても、所属される団体の方ですとか、お知り合いの方に、事務局で作成しました資料は3-2、12ページ動員依頼先（案）をもとに、このチラシを使った講演会の周知をお願いしたいと思います。お声掛けいただいた方のうち、ご出席いただけるといわれた方については、周知活動の一環として、資料は3-3、13ページにあります出席者名簿を講演会までに、事務局へご提出いただければと考えていますが、動員依頼数及び、出席者名簿の提出について、このあと皆様方でご協議をお願いしたいと思います。以上で、説明を終わります。

（議題1 協議の概要）

武方会長：タイムスケジュールは、資料の3ページのとおりでよろしいか。

岡部委員：DVDは、もう完成したのか。

事務局：まだです。これから作成にとりかかられると伺っています。

井石委員：まだ撮影にも入っていない。

武方会長：時間はどれくらいだったか。

事務局：10分程度、12分くらいの長さになる予定です。

中山委員：今治のDVDは、どれくらいの長さだったのか。

事務局：今治のDVDも同じくらいの時間で、12分程度です。

鈴木委員：DVDが10分程度の長さがあるなら、15分程度、とっておいてはどうか。

井石委員：中山先生に調整してもらったらよい。

武方会長：DVD視聴が13時45分までで、中山会長の講演が13時50分からになっているから、5分の余裕があるので、事務局案どおりに進めることにする。

資料の4ページの、アンケートをとることについては、皆さん賛成だと思います。アンケートをとらなくてもいいという方はいらっしゃいませんか。アンケートをとるという方向で進めます。アンケート項目について、何かありませんか。

井石委員：項目1「何をみて、知りましたか」とアンケートによくあるが、何か意味があるのか。

武方会長：チラシとか、市政だよりとか、効果的な広報の方法を探るためと思われる。

鈴木委員：項目5の、DVDを見た感想だけではなくて、中山先生の講演も含めて、感想を書いていたいてはどうか。

武方会長：DVDを見た感想と、講演を聞いた感想と、二つに分けることについては、どうか。

井石委員：一つでいいのではないか。

武方会長：委員の皆さんは、この会で初めて見られたのか。紙のスペースの問題もあるが、今思いつ

くことがあれば、ご意見してください。スタンダードな、この程度の内容なるかと思う。DVDの宣伝で、救急医療を逼迫する現状を知っていただいたらと思うので、基本的には、この内容で進めるが、アンケートについては、まだ先でもいいので、お帰りになってから、また何かありましたら、ご意見を事務局へ伝えることにする。

鈴木委員：「新居浜まちゆり」のデザインでもいいが、ロゴが普及していないこともあるし、せっかくなので、「新居浜市の救急医療を考えよう」のロゴに差し替えてはどうか。

武方会長：「まちゆり」から「新居浜市の救急医療を考えよう」に差し替えるというご意見だが、アンケート用紙はカラー刷りではないのか。白黒なのか。

事務局：カラー刷りではありませんが、赤黒の2色刷りなら可能です。

武方会長：できる範囲で、行ってください。

井石委員：自分たちで、印刷するのか。

事務局：そうです。

武方会長：アンケートについては、以上でよろしいか。続いて、チラシについて。

井石委員：講演会周知用のチラシの、第1部の「みんな」のイラストに中高校生がいない。

武方会長：どこからか引用しているような感じがする。

事務局：無料イラストを使用しています。

井石委員：ちょっと絵を加えられないのか。

加藤委員：それは難しい。

大野委員：イラストでいえば、男性のドクターと女性のナースというのは、いろいろなところへ広報するのに、いいのかという気がする。

武方会長：これでいいと思うけれど。

岡部委員：改めて探してみて、ないときは、これでご了解いただいてはどうか。

井石委員：中山先生の写真は、これでいいのか。

(複数の委員から)：これはいいお写真ですね。

武方会長：事務局から、「救急医療啓発 講演会」という大きな演題について、ご意見をいただきたいということだったが、これは「講演会」と「救急医療啓発」ということなのか。

岡部委員：去年の講演のときは、啓発は入っていたか。

木戸委員：救急医療講演会でした。

鈴木委員：啓発と入れることによって、教えてやるという感じが強く出てしまうのではないか。

井石委員：「救急医療を考える」にしてはどうか。

中山委員：講演内容が、救急医療とは異なるから、前回とは異なる。

武方会長：大きなテーマの付け方が難しい。

井石委員：「日常の医療を考える」とか。

中山委員：救急医療のDVDを見た後の講演会だから。

秦委員：ロゴにある「新居浜市の救急医療を考えよう」にしてはどうか。啓発や講演会をとってしまっただけではどうか。講演があることは、チラシを見ればわかる。

市政だより9月号に、救急の特集が出されていたが、ほとんど読まれていないし、私個人は9月の連合自治会の理事会で、連合自治会長に急患センターのことや、医師の人数等の資料を渡し、説明したが、認識はなかったし、実態も知られていなかった。医師の年齢を知って、驚いていたくらい。私は繰り返し言うことが大事だと思って、何でもやってきた。そのような意味で、乳幼児を持つ保護者だけを対象にせず、知られていない内科・小児科の急患センターについて、もっと知らせる必要がある。9月号市政だよりに、救急の特集が掲載されていたのを見たかと確認したが、だれも返事しなかった。

岡部委員：今年度のまちづくり校区懇談会において、秦会長の校区からのご要望はなかったかもしれないが、半数の校区から要望があり、市長説明の後に、一次・二次・三次の救急医療体制について、説明している。

秦委員：チラシについては、何回も回覧している。

岡部委員：半分以上の校区連合自治会で、知られていると思う。

秦委員：知らないということは、浸透していないのだと思う。市政だよりに掲載しても、読まれていないし、話しをしても皆、きょとんとしていた。去年の講演会に来た、何人かの理事が知っていたくらいだった。どちらにしても、繰り返し伝えていかなければならないし、講演会についても継続してほしい。スローガンは、知られていない。

井田委員：病院内にも、貼られている。

秦委員：内容は読まれていない。いつでも診てもらえると思っている。

岡部委員：裏側のことになるが、医療体制図を入れた方がいい。

秦委員：パターン2を採用したらいいと思う。スローガンは、ピンとこない。実態を示しながら、医療体制を浸透させていかなければならない。

中山委員：医療体制の、この三角形を脳裏に焼き付けてもらえたらいい。

井石委員：チラシの裏側は、この案がよいと思う。

武方会長：チラシの裏側は、パターン2に決定するが、「お子さんの急な病気やけがのとき」の救急相談について、「#8000」も加えること。

井田委員：「休日や夜間で、」のか所の、脱字を補ってください。

武方会長：図で隠れてしまったが、本来入っている文字が、見えるようにしてください。

軽いけれど、「心配なときは」とか、「・・・」とか。

事務局：「軽いけれど」で切れています。

井田委員：「軽いけれど」から、「どこの医療機関にかかればよいか」とか、次の「○」に続いて、一文になっている。

武方会長：中山先生からは、「救急医療啓発 講演会」でいいとのご意見をいただいたが、どうか。

井石委員：身近な医療を考えると、日々の医療を考えると。

中山委員：毎年、この会を行っていく予定か。そうではないのか。

事務局：これは、2回目になります。

鈴木委員：その前は、「くまのお医者さん」の劇を行った。

中山委員：救急医療という大きなテーマで続けていくのであれば、テーマを残してもいいのではないか。

井石委員：啓発をとって、救急医療講演会にしてはどうか。啓発を入れてしまうと、第一部で終わってしまうような感じがする。

秦委員：各地の研修へ行くと、だいたいこのような、同じようなものなのか。

木戸委員：はい、同じような題名となっています。今回は、2回目の講演会ですが、今、29年度の計画もしているところです。こういった救急医療講演会という形で、継続するという案もありますし、例えば保健センターでは、がん講演会、歯科医師講演会等を毎年行っていますので、そういう中の一部として入れ、啓発するという案も出ていますので、その辺りも含めたご意見をいただければと思います。

鈴木委員：この検討委員会で行うなら、救急医療でなければならないと思う。講演会を行うとか、劇をするとか、というようなことを考えると、救急医療を考える会でもいいかもしれない。講演会を毎年行わなくても、救急医療について考える機会を持つことができればよいと思う。

岡部委員：来年度、このような講演会を行うときに、協議の機会を持つことにすればよい。

井田委員：去年は、DVDがなく、鈴木先生の講演のみだったため、救急医療講演会としたと思う。今年度は、DVDの視聴があるので、啓発をあえて入れたのではないか。そういう意味であれば、「啓発」はあった方がいいのかもしれない。

武方会長：啓発と講演会の間に、スペースがあるのも、分けているということか。

中山委員：啓発と講演会の間に、中点を入れてはどうか。「救急医療啓発・講演会」とすれば、一部、二部とあることが、なんとなくわかる。

中山委員：動員をかけることはいいが、もし、たくさん来られたときはどうするのか。立ち見になるのか。

武方会長：まず表題は「救急医療啓発・講演会」に決定する。動員の件以外については、協議内容のとおりに進めることにする。動員依頼について、文書を出すのか。

事務局：チラシが出来上がりしだい、事務局から委員さんにお渡しし、委員さんが出席されている会議の中でご案内していただいたり、お知り合いの方にご案内していただいたり、使っていただきたいと考えています。資料の12ページにある動員依頼数は、ご協議をお願いするにあたって、事務局が示した、あくまでも案、目安です。

武方会長：定員は150名で、お言葉を添えて、チラシをお渡しする目標が180人ということで、席についても176は作れるということ。

岡部委員：大会議室の椅子86とパイプ椅子90を足せば、配置上は176できる。初めから配置しておくのではなく、たくさん来られたときに、パイプ椅子を足すことで対応すればいい。

井田委員：保育協議会へ小規模保育事業所の4園が新たに加わったので、30園はある。

秦委員：連合自治会は18あるから、2か、3枚ずつ、18の倍数でチラシの配布をお願いする。

岡部委員：チラシはたくさん配布して、各校区から1人ずつ、18人は確保していただくようお願いする。

秦委員：11月18日（金）、所管部長として、あなたが説明に来てください。

武方会長：出席者名簿をどうするか。

岡部委員：動員は、早くから行わないといけない。

武方会長：原則、各団体から出席者を動員することでよろしいか。

秦委員：150人定員で、去年も満席だった。保育園や小中学校へ、こんなにたくさんチラシを配布しても意味がないのではないか。こんなのは無駄だ。PTA連合会へ、動員は、おまかせしてもいいのではないか。

木戸委員：PTA連合会へお願いはするものの、案外、出席はいただけない状況です。

岡部委員：チラシの裏には、医療体制図等も印刷することになった。講演会のお知らせと合わせて、啓発を含めて行うことができる。

秦委員：小中学校合わせて、9,700人の児童生徒しかいないのか。少ない。

岡部委員：今現在、1年の出生数が、おおよそ1,000人である。

秦委員：幼稚園、保育園をあわせて4,000人しかいないのか。

木戸委員：1年に1,000人として、小中学校の9年間では、おおよそ9,000人となります。

秦委員：それは、人口が減少するはずだ。民生児童委員は、いろいろなクラブを持っているから、そういったところにPRするのが、いいのではないか。大生院の場合は、民生児童委員に伝えて、必ず渡しておく。

中山委員：三角形の中の一次救急のうち、深夜の小児について、今、月・水・土曜のところを、11月から金曜日も入るから、金曜日を加えて、「ただし、月・水・金・土曜日は21～翌6時」と訂正しておいてください。

武方会長：事務局案のとおり進めることにする。検討事項については、以上でよいか。

事務局：資料の13ページの出席者名簿についてですが、委員の皆さんに、所属団体ですとか、お知り合いにお声掛けいただき、出席できると言っていた方のお名前を、できれば頂戴したいと事務局としては考えています。この出席者名簿の提出については、いかがですか。

岡部委員：動員依頼する団体に、名簿を出してもらいたいということか。

事務局：はい。13ページ、資料3-3にあります団体名には、例えば、新居浜市保育協議会など、委員の皆さんの所属団体名が入ることになります。

武方会長：資料12ページの、団体名が入るとのこと。

事務局：はい、そうです。

藤田委員：名前まで、必要ですか。

事務局：それをご協議いただきたいということです。必要なか、必要でないのかをご協議ください。

木戸委員：例えば、こういう方にご出席いただけると、名前を書いていただいて、名簿をご提出いただけると、ある程度、出席いただける方の人数の把握ができます。

井石委員：出席した人が当日、名前を書くのではなくて、講演会の前に、事前に提出するということか。

木戸委員：名簿の提出までが無理でしたら、例えば、期限までに出席者人数をお知らせいただくことは、いかがでしょうか。

武方会長：出席者人数を予め知りたいということ。

岡部委員：講演会に来てもらったときに、書いてもらうこともしなかった。

中山委員：人数の把握はしたいだろうが、なかなか難しいと思う。例えば、医師会はメール便で、各医療機関にはチラシを送付することになるが、出席するように言ってもあまり意味がない。メディカルの人や、患者さんに、講演会のお知らせをするが、それを集約して、提出するという面倒なことは、皆協力しないと思う。シンプルに、講演会があることを、チラシをお渡しして、周知していただいて、興味関心のある方に来ていただくことでいいのではないか。

井石委員：前もって出席者名簿を出すのは、無理ではないか。適当に名前を書いて、出されるだけになってしまうかもしれない。

岡部委員：割り当てを目標に動員依頼していただいて、極端に出席の少ない団体があるということではなければ、出席名簿まで出さなくてもよいのではないか。動員依頼して、名簿を提出してもらって確保する方法もあるかもしれないが、去年も実施していないし、去年のとおりでよいのではないか。

武方会長：多く来てくださった団体があるとか、偏りがあるのか。

木戸委員：詳細な数字は、今手元にありませんが、去年の講演会では、食生活改善推進協議会、保育協議会の方に多くご来場いただきました。

井田委員：保育協議会は同じ日に、保育フォーラムがある。恐らく午前中で終わると思うが、時間が重ならなければ、各保育園から1名は出席できると思う。時間が重なってしまうと、難しいと思う。

木戸委員：去年も、保育協議会からは、たくさんの方にご出席いただきました。ありがとうございます。

武方会長：出席者名簿の提出はしないことに決定する。

秦委員：受付で出席者名簿の記入はしなくていいのか。

木戸委員：アンケートによって、どういう方にご出席していただけたのかは、概ね把握することができますので、それで把握したいと思います。

武方会長：去年と同じ形で、自然に来ていただくことにする。委員の皆さんにおかれては、各団体でPRをお願いします。

その他、何かないようでしたら、続いて、議題2、救急医療適正受診啓発DVDを用いた今後の活

動について、事務局から説明をお願いします。

(議題2 概要)

(事務局説明)

現在、作成を進めていただいています「救急医療適正受診啓発DVD」を用いた啓発を平成29年度以降に行っていくため、資料4-2、15ページの、所属される団体におきまして、12月から3月までの間で、開催される会議の際にお時間をいただき、DVDを作成したこと、それが完成したことのお知らせや、できれば視聴していただいたり、救急医療適正受診等についてお話しさせていただいたりする場を得られるように、まずは、その機会をいただきたいと事務局としては考えています。また救急医療講演会のご案内も兼ねて、事務局としては、1月の講演会までに調整できればと考えています。

このことについて、所属団体におかれまして、実施可能の可否についてなど、まず、ご協議いただく機会を設けていただきまして、御多忙のところ、たいへん恐れ入りますが、資料4-1、14ページにあります「救急医療適正受診啓発DVDのお知らせについて」に、実施可能・不可能のいずれかを丸囲みしていただき、11月25日(金)までに、事務局までにご回答いただきたいと考えています。実施可能の場合、日時、会議開催場所などをご記入いただき、そのあと、回答内容により、それぞれ、具体的にお話しを進めさせていただきたいと考えていますが、このことについて、このあと、委員の皆様でご協議をお願いしたいと思います。以上です。

(議題2 協議の概要)

武方会長：12月にはDVDは完成しているのか。

事務局：医師会でお伺いしましたら、今の予定では11月中には完成させたいということで、進めてくださっています。

武方会長：ということから、DVDの案内を12月から、委員さん所属の団体の、資料15ページに書いてあるような理事会で、時間を取れる日程の報告を、11月末までに事務局に行くことについて、いかがですか。

それぞれの団体で、できれば12月に、時間が取れない場合は1月に、早いうちに行い、3月までには事務局としては、説明に回る方向で、各委員さんから、11月末までには、事務局に連絡をいただきたい。割いてくれる時間に合わせた内容になる。

井田委員：このDVDは、保育園から欲しいといわれたときに、購入することなどができるのか。

事務局：かなりの枚数を作ってくださいの予定ですが、恐らく貸し出し用で準備することになります。言っていただいて、貸し出すようになります。配布できるほどの数は、ないと思います。

井田委員：各園にあれば、毎年、入園式で皆さんに見ていただくことができる。

武方会長：DVDは、複製の制限のかかったものになるのか。

事務局：一応、著作権があるのではないのでしょうか。コピーしてもいいとは、私どもからは申し上げられません。医師会と新居浜市の協働作ですので、医師会と新居浜市に著作権はあると思います。

大野委員：著作権者は、コピーしても構わないのか。

井石委員：コピーフリーでいいのではないかと。制限をかける必要はない。悪用されることもないだろう。

事務局：医師会に了承していただけるのなら、いいと思います。

岡部委員：予算上、何枚作成できるのか、わからないが、ある程度枚数を作成することができれば配布することができる。啓発事業という趣旨からも、販売・購入ということにはならない。

井田委員：余裕があれば、配布いただきたい。

秦委員：DVDは常時、貸出可能か。

事務局：はい。

秦委員：説明する機会を得られるかどうかの照会回答については、地域コミュニティ課に聞いて。

岡部委員：連合自治会なら、日にちは決まっている。提出しなくてもわかっている。

事務局：委員さんに予め、所属されている会の会議中におはかりいただいて、ご回答いただきたいと考えましたので、ご協議をお願いしました。

武方会長：会議の日程だけなら、市でも把握できるかもしれないが。

岡部委員：女性連合協議会も、定例的な会を持たれているのであれば、その日で、できればお願いすればいいと思う。

加藤委員：12月20日に団体長会があるので、10月の会のときに、おはかりして、そこでできるなら、それで回答する。

武方会長：という形で、実施可能日を報告することに決定する。資料4-1で様式を用意しているので、ファックスでも、電話でも、いずれかご回答してください。

(その他)

武方会長：用意された議題は以上ですが、この際何かありませんか。なければ、次回の開催日を決定しておきたいと思う。時間帯は13時30分から15時までの、同じ時間帯で、2月2日か、16日かのいずれかで決定したいが、いかがでしょうか。

井田委員：私は2月16日の方がいい。

武方会長：それでは、2月16日木曜日、13時30分から開始することに決定する。以上をもって、本日の会は終了する。